

## 令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立谷中中学校 校長 武藤 秀徳

## 1 学校教育目標

- 自ら学ぶ生徒
- 豊かな心をもつ生徒
- たくましく生きる生徒

## 2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ② 学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- ③ 学校図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。
- ④ 読書に親しみ、読書習慣を身に付け、読書力をつける。

## 3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 14,570 冊（蔵書基準冊数 11,680 冊）／ 蔵書率 124,74%（元年度末 131,42%）									
	② 新規購入図書 482 冊 ／ 廃棄図書 0 冊 ／ 増減冊数 482 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3.2%	3.3%	10.4%	9.5%	8.4%	4.7%	2.7%	11.5%	5.3%	41.0%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：昼休み～17：00 まで									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 4.02 冊（前々年度末：6.01 冊）									
	③ 学校図書館利用率 1002,3%（前々年度末：2,201%）									

## (令和4年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 14,758 冊（蔵書基準冊数 11,680 冊）／ 蔵書率 126.35%									
	② 新規購入図書 484 冊 ／ 廃棄図書 296 冊 ／ 増減冊数+188 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3.2	3.4	10.5	9.3	8.4	4.9	2.8	11.6	5.4	40.5
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間： 昼休み～17：00 （前年度からの変更 なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 4.2 冊 （前年度末：4.02 冊）									
	③ 学校図書館利用率 1076.5% （前年度末：1002.3%）									

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 小学校からの読書習慣を継続しながら、読書に親しむ意欲を育成する。 ② 学校図書を活用した探究活動を通して、問題発見・解決能力の育成を図る。 ③ 図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。									
今年度の成果目標					達成基準					
① 休み時間や放課後の時間等、必要に応じて学校図書館を活用して、読書を行うことができる。					① 第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増					
② 図書館の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。					② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率60%以上					
③ 学校図書館のきまりや仕組みを知る。					③ 学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率100%					
目標達成状況										
① コロナ禍でも主体的に学校図書館を利用する生徒が増えた。 ② 学校図書館を活用して調べ学習を行うことが出来た。 ③ 新型コロナウイルス感染症対策をしながら、学校図書オリエンテーションを100%行えた。										

<b>第2学年</b>	①様々な読み物を読もうとする意欲を育てる。 ②課題によって学校図書やICT機器を使い分ける活動を通して、情報活用能力の育成を図る。 ③学校図書をよりよくするための思考を通じて、規範意識の育成を図る。
<b>今年度の成果目標</b> ① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書を行うことができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活動を進めることができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、必要に応じて学校図書館を活用することができる。	<b>達成基準</b> ① 第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率60%以上 ③ 読書や探究活動の授業を年10回以上実施するクラスの割合100%
<b>目標達成状況</b>	
①コロナ禍でも主体的に学校図書館を利用する生徒が増えた。 ②学校図書館を活用して調べ学習を行うことが出来なかった。 ③調べ学習の参加率を増やすことが今後の課題である。	
<b>第3学年</b>	① 読書を通して考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ② 学校図書やICT機器を活用した探究活動を通して、言語能力の育成を図る。 ③ 学校図書をよりよくするための活動を通して、主権者としての素養を育成する。
<b>今年度の成果目標</b> ① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、必要性に応じた読書を行うことができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活動を進め、表現することができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、よりより仕組みについて考えたり、話し合ったりすることができる。	<b>達成基準</b> ① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 学年生徒の調べる学習コンクール参加率60%以上 ③ 読書や探究活動の授業を年10回以上実施するクラスの割合100%
<b>目標達成状況</b>	
①本が大好きな生徒が多く、学校図書館を利用する生徒が増えた。 ②学校図書館を活用して調べ学習を行うことができなかった。 ③調べ学習の実施率を増やすことが今後の課題である。	

## 5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

<b>取組計画・方針</b>	<b>成果・効果</b>
<b>【蔵書・配架等に関すること】</b> ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を9月中に完了させる。 ② 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。 ③ 全蔵書の6割程度について、「3桁分類」への転換作業を完了する。	<b>【蔵書・配架等に関すること】</b> ①登録作業が9月までには終わらなかったが、年度内には終わった。 ②蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成することができた。 ③全体の7割、転換作業ができた。
<b>【学校図書館支援員との連携・協働】</b> ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③ オリンピック・パラリンピックやキャリア教育等、時期に応じた連携や協働に計画的に取り組む。 ④ 学校図書館だより展示・掲示の工夫・充実を図り、生徒の読書活動の向上に努める。	<b>【学校図書館支援員との連携・協働】</b> ①オリエンテーションや図書委員でのブックトークを行うことができた。 ②欲しい資料は、その都度お願いをし、準備してもらった。 ③時期に応じて連携できた。 ④定期的に学校図書館だよりを発行し、読書活動の向上を図った。

**【その他】**

- ① 年度末の貸し出し返却率が 100%となるよう取り組む。
- ② 中央図書館との「調べ学習用図書」の配送サービスの積極的な活用を図る。

**【その他】**

- ①返却率 100%となった。
- ②学校図書館の本で十分間に合ったため、活用しなかった。

**6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）**

新型コロナウイルス感染症対策を行いながらも、学校図書館支援員や図書担当教諭をはじめ、各先生方が読書活動の推進に理解していただいたおかげで、貸出冊数も増え、読書に親しむ生徒が増えた。まだ、学校図書館を利用したことがない生徒がいるため、読書の面白さを学校図書館支援員と協力して伝えていく必要がある。

**7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）**

学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能向上を実現し、生徒が主体的に学校図書館を活用して読書・学習し、創造的な活動を行う環境を醸成していきたい。